

5月に向けて

代表取締役 三田雅憲

2月末に勃発した、中東イランとイスラエル、アメリカとの戦争が、4月に入って攻撃が激化しホルムズ海峡をイランが閉鎖し、たちまち石油危機とLPガス危機が発生しました。3月中旬頃より、どうも石油特にナフサが取り合いと流通が卸さない状況になっている情報を受け、当社も24日付で各得意先に対して中東情勢における影響についてのアナウンスを打ちました。24日以降シンナーの入荷や塗料の入荷状況は益々悪化しました。当社においても発注しても発注数を間引きされたり、納期は平気で延長されたりしております。そしてシンナーやLPガスをはじめ、プラスチック製品(梱包材やPPバンドストッパーや養生テープ)などの価格が軒並み4月1日より40～80%UPの高騰を掲示してきました。交渉の余地なくただ当社としては製品が滞りなく入荷してくる時を待つような状況と現在なっております。元来、3月は当社の決算月に当たりできる限り資産となる材料は買い控えるのですが、今回はそういうことを言わずに買えるシンナーは出来るだけ購入といたしました。4月は当初の営業の予想に反して、仕事は堅調に入荷している状況で仕入が不安定となっており、結果不安定な感じが漂っております。

そのような中、4月1日に2026年度卒業の新入社員が当社に入社されました。新入社員の皆様は当社に熱望して入社された方ばかりでしたし、また真面目な方が揃いました。入社式では、役員からの祝辞を述べさせていただきました。私は会社の歴史をお伝えしました。また、それぞれの立場でほかの役員も祝辞を述べてもらいました。社会人の目標をパズルに見立てて、ピースを1枚1枚入れていくことで目標が楽しくクリアする、つまり仕事もそのように楽しく進めることが長くやる秘訣であるという話をしてくれました。その後、新入社員に一人一人自己紹介をしていただきました。これが当社の仲間となった瞬間でした。本当にこの社員たちが、当社に入社して良かったと言ってもらえるように、関係者は頑張らないといけないと私自身も気を引き締まる思いでいっぱいになりました。次の日には、4名の皆さんは大阪工業協会の主催する新入社員総合基礎研修に2日間、参加してもらいました。研修会でも、沢山の講師の方々より素晴らしい研修を受けられたようです。研修受講レポートが後日当社に送付されてきました。4名の新入社員が思い思いの感想を記したレポートです。ある新入社員の方は、研修4の「製造するということ」の中でこのように述べられています。「学生の立場では知らなかった仕事(ものづくり)の仕組みや、役割を理解できました。報酬を頂いて社会の為に行動するうえで、自分がどの立場で何のどの部分を担っているか知ること、品質・コスト・納期のバランスを考え、お客様に選んでいただくこと。無駄を削り、利益を出すこと。5Sを徹底し、偶然の事故を無くすこと。常に問題意識を持ち、見える化すること。自分の立ち位置と将来像を見直すことなど、目から鱗でした。」と記してくれていました。今、当社がアクションプランでまさに実施していることを、担当講師より研修を受け、ここまで考えてくれていることは本当にうれしく感じました。お客様が喜んでくれること、お客様に選んでもらうこと。その為に品質やコストや納期を考え、無駄(時間・材料・人手)を削り利益を出すこと。その為には売上げを上げて、自分たちの分配も増やせるように努力することも、同時に求められます。そこで働いている人が幸せになることも非常に重要であるからです。このような人財に入社してもらえる企業により企業価値を高めていきたいと考えています。